



令和2年度 第4号 令和2年7月13日

鶴 星

阿久根市立鶴川内中学校

校 訓

スクールコンセプト

ともに**夢**と**希望**を育む鶴川内中

協 自 自
調 律 主

一 校 一 風

育てよう**花**と**心**と大きな**夢**を

校長室の窓から

どんなことでも起こり得る、とはいえ、この夏！

校長 中山 武広

中島敦の短編小説『山月記』の中で、主人公は、自身が虎になってしまったことを深く嘆き、「(虎の身になったことが)どうしても夢ではないと悟らねばならなかった時、自分は茫然とした。そうして懼(おそ)れた。全く、どんな事でも起こり得るのだと思うて、深く懼れた。」と吐露します。高校生のときに国語の教科書で初めて読み、作品自体にも衝撃を覚えました。が、「全く、どんな事でも起こりうるのだ」という一節は、強い印象をもって脳裏に刻まれました。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

コロナ対応が始まってからというもの、心が晴れるときがない、というのが正直なところです。生徒たちが楽しみにしている行事等について、「延期」や「規模縮小」、特に、「中止」を決断するという事は、安全・安心の確保のためとはいえ、気が滅入ります。夏季休業中に授業を実施することについても、全国規模でこの状況になるとは全くの想定外で、穏やかに迎えたお正月の頃、今年がこんな年になろうとは夢にも思いませんでした。全く、どんなことでも起こりうるのです。

また、先日来の大雨の際、テレビを観ていると、県内外のコロナ感染拡大を伝える画面の上端には、大雨警報・被害状況等の情報がテロップで流れていました。「コロナに大雨か…」とため息混じりに観ていましたら、テロップに重なって、「緊急地震速報(県外)」が発せられたのです。幸い大きな被害は出なかったようですが、「コロナに、大雨に、地震か…」と、しばし呆然としました。今後、これらに台風や熱中症も加わってくることでしょう。四重苦も五重苦も、全く、どんなことでも起こり得ると、心の準備と万全の備えを怠らないように努めるばかりです。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

とはいえ、今まさにどんなことでも起こり得る状況のまっただ中にあるにせよ、「どんなこと」とは悪いことばかりとも限りません。「どんなこと」には、当然、思いがけない幸いも含まれているはず。このような状況でも、生徒たちは明るく元気でいてくれますし、本校職員も、突発的にいろいろなことが出てくる中、明るく前向きに力を合わせて頑張ってくれています。試練のこの夏、この元気さ・明るさが、たくさんの幸いを呼び起こすことを願いたいと思います。

行事予定

月	日	曜	7月～8月前半の主な行事
7	8	水	職場体験学習(2・3年)
	9	木	設営コンクール
	10	金	租税教室(中止)
	13	月	巡回相談
	14	火	県民の日・SC来校
	15	水	高校出前授業
	17	金	命の教育 (SOSの出し方に関する教育)
8	21	火	三者面談(~28日) 水難事故防止運動強調期間~
	22	水	地区総合体育大会①
	28	金	地区総合体育大会②
	30	木	終業式
	6	木	第1回市中学生会議
	13	木	閉庁日(~14日)
8	21	金	出校日
	23	日	リサイクル活動
	30	日	奉仕作業

水難事故防止、熱中症対策に努めて健康に
竜して過ごし、夏休みの計画を立てましょう。

スクールカウンセラー(SC)の紹介

本年度は、永田美穂子先生が本校担当です。昨年度まで阿久根市内の小学校が担当でした。今年度は、7/14、9/16、11/18、1/20に来校予定です。相談希望の保護者・生徒は、担任の先生までご連絡ください。

努力目標

夏休みの学習計画と生活設計を立てよう

一事徹底

机上やカバン棚の整理整頓

グリーンタイム

6月2日(火)
種から育てた苗を花壇に!



今年度は、「聖母マリアの黄金の花」といわれるマリーゴールドやジニア(百日草), サルビア(緋衣草)といった夏に強い花苗を植えました。

環境問題に関心・興味をもち、自然や社会の事象を多面的・総統的に捉える力を育成するため、年2回のグリーンタイムがあります。よりよい環境のづくりに向け、主体的に参加し、環境に対して責任ある行動がとれるようになりましょう。今回は、用務員の古川さんが種子から育てた苗を今年度は校庭や校門の花壇に植え替えました。植えただけでなく、今後も生徒自身が見守って花を咲かせましょう。

弁論大会

5月29日(2・3年) 6月2日(火)
司会も審査も自分たちで!



今年度は各学年で行われました。それぞれの生徒の主張が胸に響くとともに、聞く姿勢も立派でした。係の生徒が進行、タイムキーパーを行い、相互評価をしました。よりよい表現力を身に付けていきましょう。

学級PTA

6月26日(金)
94.5%の参加率でした。



各学年副担任の先生方(1年は保健体育, 2年は数学, 3年は社会)の授業でした。久しぶりの保護者来校で、「身長が大きくなったね。」と声を掛け合う姿が印象的でした。参加型の授業やPTAでは、和気藹々でした。

高校説明会

6月5日(金)
8校の先生方から紹介!



中学校卒業後の進路先について知るとともに、どのような校風, 学科等があるか聞くことができました。自らの意思で進路を選択し, 今の生活を見直し, 泣いて笑って卒業できるように決意を新たにすることができました。

第1回バックアップ委員会

7月8日(水)
よろしくお願いします。



バックアップ委員による授業参観

鶴川内中学校同窓会長	児玉 利明
田代小学校校長	桑原千恵子
鶴川内地区区長代表	高原 重一
歴代PTA会長代表	田代 信郎
民生委員代表	原口ノリ子
鶴川内中学校PTA会長	新塘 征一

期末テストを終えて テストはレントゲン! 自分の力を試すもの!

多くの医療機器は、病気の早期発見に役立っている。見えない部分を可視化し、先を読み、よりよい治療の見通しとなる。テストはそのレントゲンと同じ役割を果たしている。健康診断に行く前日は食事制限を行ったり、検尿・検便があったりする。テストに臨むにも、事前の学習や準備、整理は欠かせない。しっかりと今の実力を試すためには必要である。レントゲンが病の原因を探す手段であれば、テストは自分の勉強の弱点を知るための手段。自分の弱点を知り、それを克服することこそ、将来の道を切り拓く最大のポイントだ。テストとは、順位にこだわり、高得点を取り、高校に合格するためだけにあるのではない。その教科が直接的に社会人になって役に立たないかもしれない。しかし、物事を考えていく中でいろいろな幅のある考え方ができるようになる。その幅がもてた分、物事を正しく見ることができるようになる。勉強することで魅力や人間性を磨いているに違いない。加えて、今の力を押し量り、見えない部分を可視化し、生涯、どのように学べばよいかも身に付けたい。